

令和7年度

山口県立大学企業等調査報告書

2026年3月

公立大学法人山口県立大学

1 調査の目的と実施方法

(1) 調査の目的

本学や本学卒業生・修了生に対する評価、企業等が本学に求めることや本学に対する助言・改善点を求めることで、教育のPDCAサイクルを回しつつ、今後の教育の質や内容・大学運営の改善に活用する。

(2) 調査実施方法概要

2022～2024年度の卒業生・修了生が就職した656の企業等を対象に、WEBにてアンケートを実施した。具体的には、対象先にアンケート協力ハガキ（V型圧着ハガキ）を送付したうえで、ハガキ記載のURLまたは二次元コード経由で回答フォームにアクセスし回答いただく形とした（実施期間：12月1日～1月16日）。

有効回答数は222件で、回答率は33.8%となった。

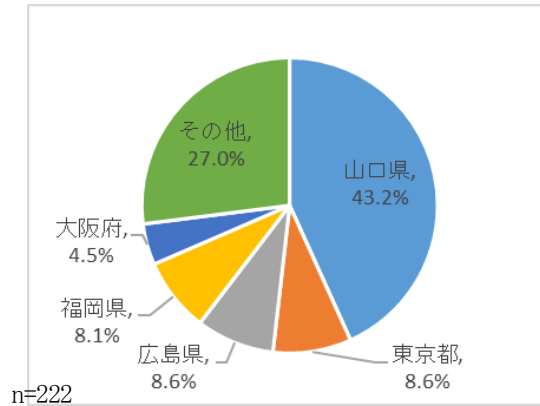
2 調査結果

(1) 属性

①所在地

・25 都道府県から回答があり、山口県内の企業等が4割超と最も多い。

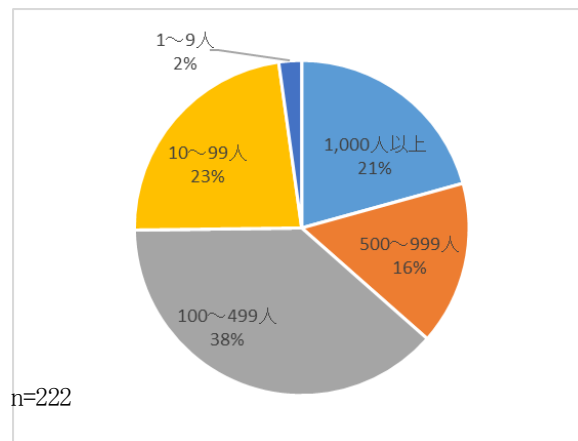
所在地	割合
山口県	43.2%
東京都	8.6%
広島県	8.6%
福岡県	8.1%
大阪府	4.5%
その他	27.0%
計	100.0%



②従業員・職員数

・「100人以上499人以下」の企業等が4割近くを占めている。

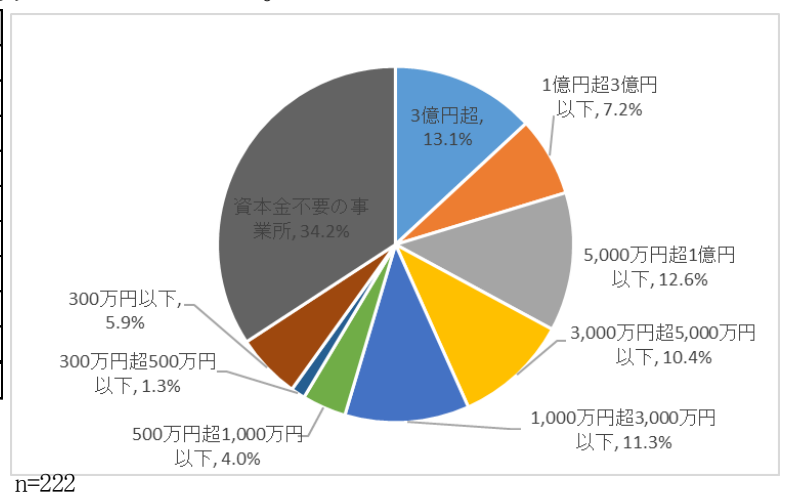
従業員・職員数	割合
1,000人以上	20.7%
500～999人	15.8%
100～499人	38.3%
10～99人	23.0%
1～9人	2.2%
計	100.0%



③資本金

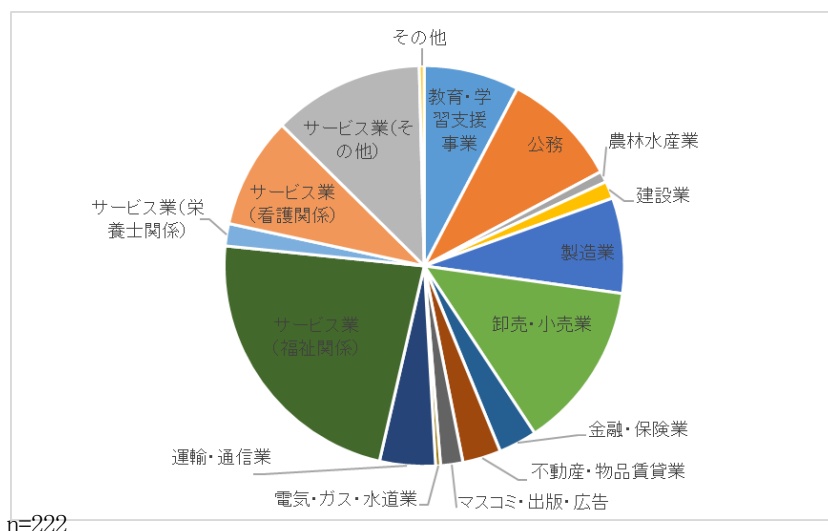
・「資本金不要の事業所」が全体の3分の1を超えている。

資本金	割合
3億円超	13.1%
1億円超3億円以下	7.2%
5,000万円超1億円以下	12.6%
3,000万円超5,000万円以下	10.4%
1,000万円超3,000万円以下	11.3%
500万円超1,000万円以下	4.0%
300万円超500万円以下	1.3%
300万円以下	5.9%
資本金不要の事業所	34.2%
計	100.0%



④主たる業種

主たる業種	割合
教育・学習支援事業	7.7%
公務	9.5%
農林水産業	0.9%
建設業	1.4%
製造業	7.7%
卸売・小売業	13.5%
金融・保険業	3.1%
不動産・物品賃貸業	3.1%
マスコミ・出版・広告	1.8%
電気・ガス・水道業	0.4%
運輸・通信業	4.5%
サービス業(福祉関係)	23.0%
サービス業(栄養士関係)	1.8%
サービス業(看護関係)	9.0%
サービス業(その他)	12.2%
その他	0.4%
計	100.0%

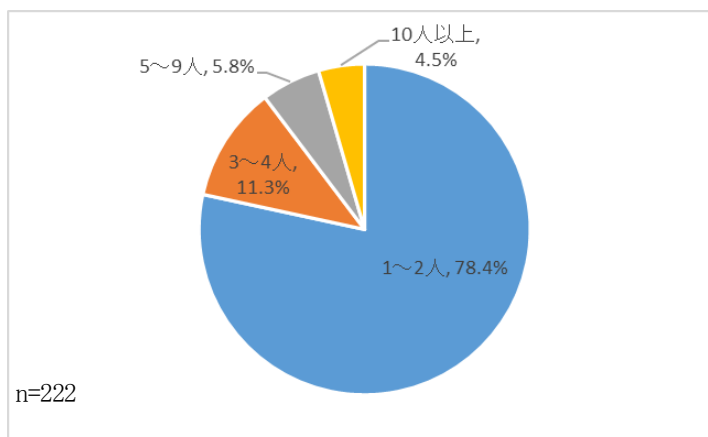


(2) 本学出身者の状況

①直近3か年度の本学出身者の在籍者数

- ・「1～2人」が全体のほぼ8割と最も多い。

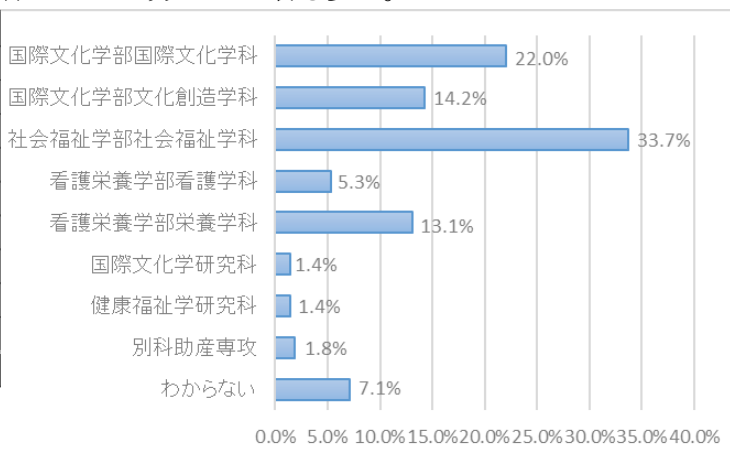
直近3か年度の本学出身者の在籍者数	割合
1～2人	78.4%
3～4人	11.3%
5～9人	5.8%
10人以上	4.5%
計	100.0%



②本学出身者の学部・研究科

- ・「社会福祉学部社会福祉学科」が全体のほぼ3分の1と最も多い。

本学出身者の学部・研究科	割合
国際文化学部国際文化学科	22.0%
国際文化学部文化創造学科	14.2%
社会福祉学部社会福祉学科	33.7%
看護栄養学部看護学科	5.3%
看護栄養学部栄養学科	13.1%
国際文化学研究科	1.4%
健康福祉学研究科	1.4%
別科助産専攻	1.8%
わからない	7.1%
計	100.0%



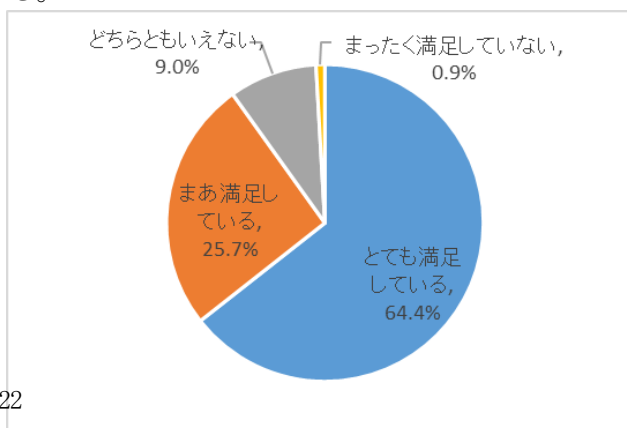
複数回答(3つまで)、n=222

(3) 本学出身者に対する評価

① 本学出身者に対する満足度

- ・ 9割の企業等が「満足」と回答している。

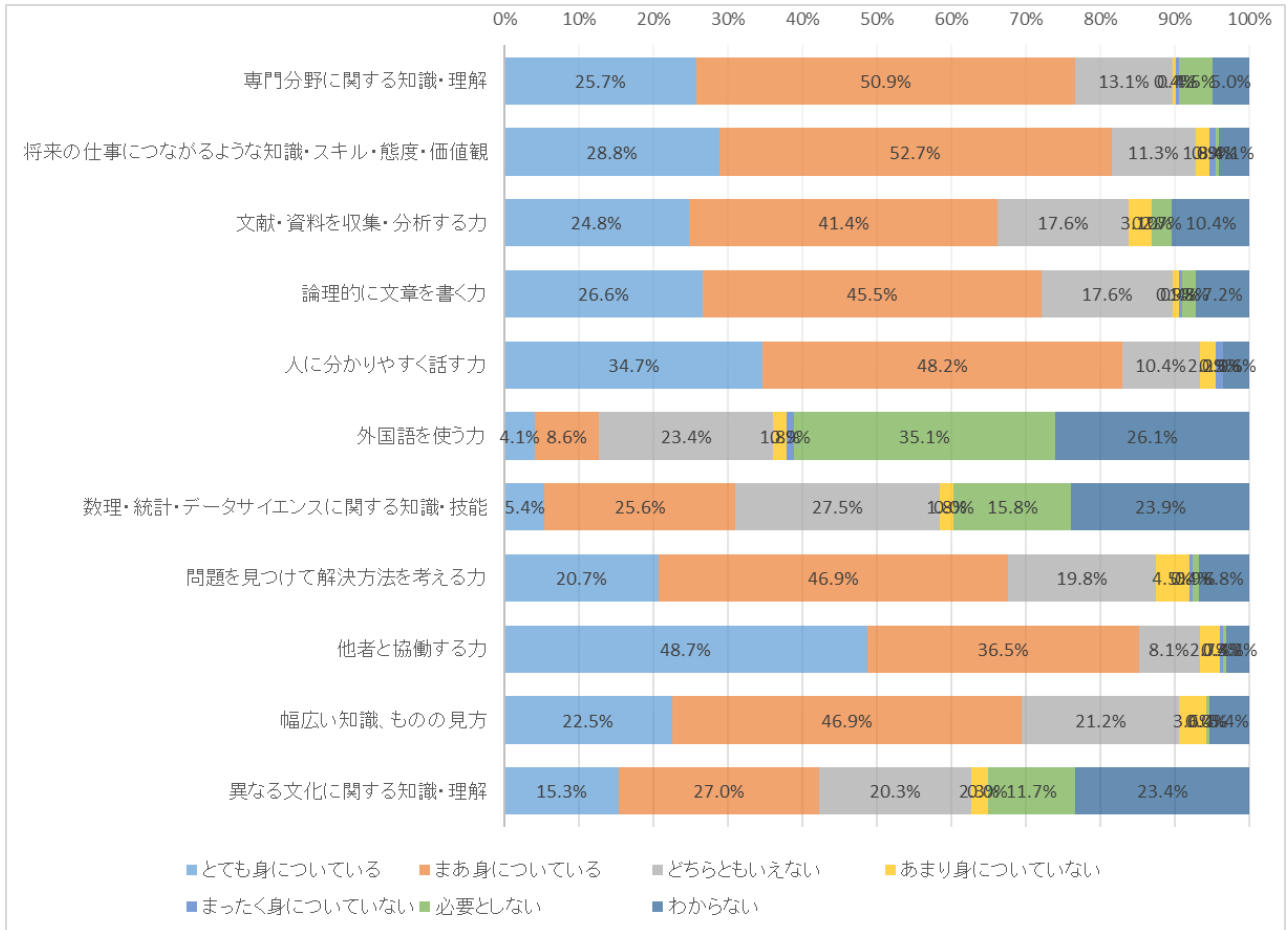
本学出身者に対する満足度	割合
とても満足している	64.4%
まあ満足している	25.7%
どちらともいえない	9.0%
あまり満足していない	0.0%
まったく満足していない	0.9%
計	100.0%



② 本学出身者が身に付けている能力等の評価

- ・ 「他者と協働する力」は半数近くが「とても身につけている」と回答しており現場での協働性が評価されている。
- ・ 「専門分野に関する知識・理解」や「将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観」、「人に分かりやすく話す力」について、「とても身につけている」「まあ身につけている」の回答が約8割と高く評価されている。
- ・ 「数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能」は「どちらともいえない」「わからない」が多い。

本学出身者が身に付けている能力の評価	とても身につけている	まあ身につけている	どちらともいえない	あまり身につけていない	まったく身につけていない	必要としない	わからない	計
専門分野に関する知識・理解	25.7%	50.9%	13.1%	0.4%	0.4%	4.5%	5.0%	100.0%
将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観	28.8%	52.7%	11.3%	1.8%	0.9%	0.4%	4.1%	100.0%
文献・資料を収集・分析する力	24.8%	41.4%	17.6%	3.1%	0.0%	2.7%	10.4%	100.0%
論理的に文章を書く力	26.6%	45.5%	17.6%	0.9%	0.4%	1.8%	7.2%	100.0%
人に分かりやすく話す力	34.7%	48.2%	10.4%	2.2%	0.9%	0.0%	3.6%	100.0%
外国語を使う力	4.1%	8.6%	23.4%	1.8%	0.9%	35.1%	26.1%	100.0%
数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能	5.4%	25.6%	27.5%	1.8%	0.0%	15.8%	23.9%	100.0%
問題を見つけて解決方法を考える力	20.7%	46.9%	19.8%	4.5%	0.4%	0.9%	6.8%	100.0%
他者と協働する力	48.7%	36.5%	8.1%	2.7%	0.4%	0.4%	3.2%	100.0%
幅広い知識、ものの見方	22.5%	46.9%	21.2%	3.6%	0.0%	0.4%	5.4%	100.0%
異なる文化に関する知識・理解	15.3%	27.0%	20.3%	2.3%	0.0%	11.7%	23.4%	100.0%



n=222

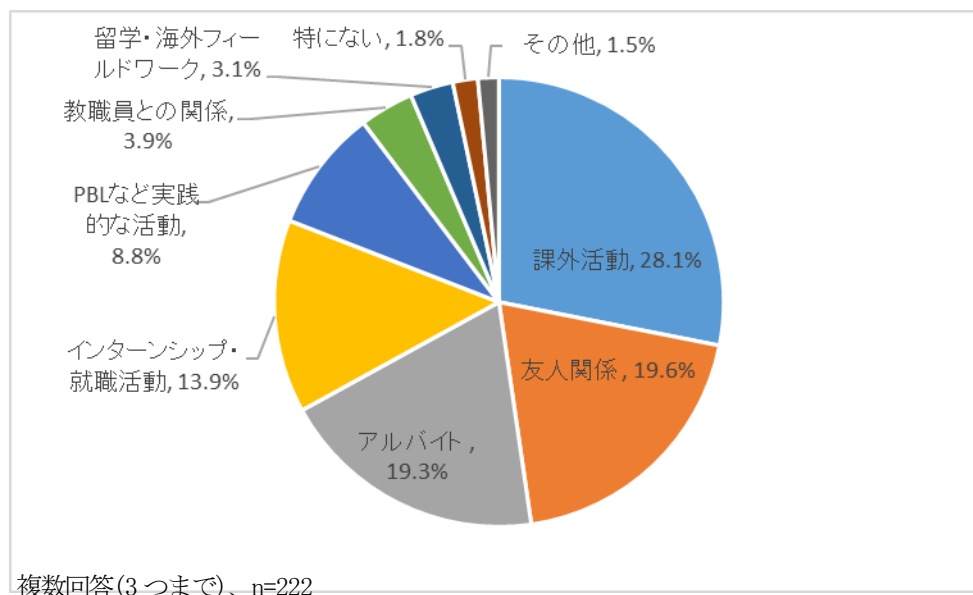
③学生のうちに身に付けておくべき能力

- ・学生のうちに身に付けておくべき能力を自由記述でたずねたところ、「コミュニケーション力」の回答が最も多く、他に「社会経験」「協調性」「主体性・積極性」などがあげられ、「就業するための社会人基礎力」を身に付けることを求めている。

(4) 学生のうちに力を入れておくべきこと

- ・「課外活動」が約3割と最も多く、次いで「友人関係」「アルバイト」が各2割となっている。

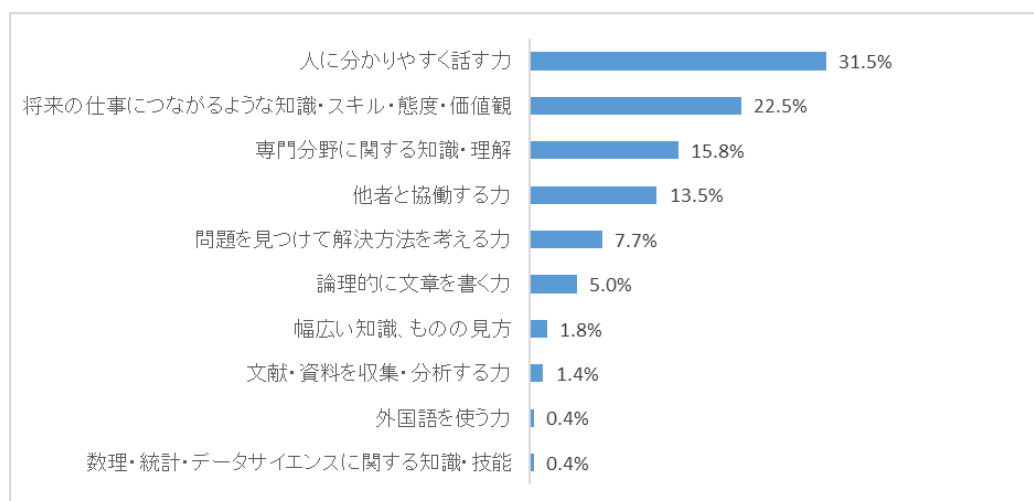
学生のうちに特に力を入れておくべきこと	割合
課外活動(サークル活動・学生自治会活動・学校行事・ボランティア活動、その他自主的に参加する活動など)	28.1%
友人関係	19.6%
アルバイト	19.3%
インターンシップ・就職活動	13.9%
PBL(プロジェクト型演習)など企業や行政、民間団体と連携した実践的な活動	8.8%
教職員との関係	3.9%
留学・海外フィールドワーク	3.1%
特にない	1.8%
その他	1.5%
計	100.0%



(5) 本学に対する助言

- ①学生の資質・能力の育成と充実を図るべきこと
・「人に分かりやすく話す力」が3割超と最も多い。

本学が学生の資質・能力の育成と充実を図るべきこと	割合
人に分かりやすく話す力	31.5%
将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観	22.5%
専門分野に関する知識・理解	15.8%
他者と協働する力	13.5%
問題を見つけて解決方法を考える力	7.7%
論理的に文章を書く力	5.0%
幅広い知識、ものの見方	1.8%
文献・資料を収集・分析する力	1.4%
外国語を使う力	0.4%
数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能	0.4%
計	100.0%



複数回答(3つまで)、n=222

- ②人材育成のために充実が望ましいこと

人材育成のために充実が望ましいことを自由記述でたずねたところ、「多様な経験・社会人との接点」や「コミュニケーション力」をあげる回答が多く、コミュニケーション力を重視していることがわかる。

- ③本学に対する意見・要望等

本学に対する意見・要望等を自由記述でたずねたところ、「今後も採用したい」「優秀な学生を送り出してほしい」といった期待の声とともに、本学に対する感謝など好意的な評価が多い。また、学生との接点を求めるなど、今後の連携要望を主とした関係性の維持・発展を要望する回答が多くあげられている。

(6) まとめ

本調査から、本学卒業生は専門知識、協働力、問題解決力、コミュニケーション力において高い評価を得ていることが確認された。特に、まじめで誠実な姿勢や現場での適応力は高く評価されている。また、優秀な学生の輩出といった、本学への信頼と期待の高さがうかがえる。

一方で、データサイエンス能力、主体性・自律性については、さらなる強化が求められており、社会が求める人材育成を推進していくために、教育の質の継続的な向上と産学連携の一層の強化が求められている。